

85th
Anniversary
Tamagawa
1929~2014

Special Exhibition

玉川学園創立85周年記念特別展

東と西のキリスト教美術

—イコン・西欧絵画コレクションから

Christian Arts in East and West

— From the Collection of Icon and European Painting

前期

2014年11月3日(月・祝)~12月7日(日)

後期

2014年12月13日(土)~2015年1月25日(日)



慰めの聖母マリヤ ロシア・イコン 1800年頃(前期)

いは出会う聖なる世界

展示資料

前期 イコン : 聖三位一体/キリスト誕生まで/キリストの生涯と復活
聖母像など 35点

西欧絵画: 聖母像/聖母子像/最後の晩餐/キリストの十字架磔刑
キリストの復活など 12点

後期 イコン : 聖母子像/キリスト像/祝祭のイコン/天使と聖人たち
最後の審判など 36点

西欧絵画: 前期と同じ作品 12点を展示いたします

※西欧絵画「聖母子と大天使ミカエルと聖人たち」は、11月27日の講演会会場にて公開いたします

◆休館日 前期 2014/11/11(火)~13(木)、15(土)、16(日)、29(土)、30(日)

後期 12/20(土)~2015/1/4(日)、1/12(月)、17(土)、18(日)

◆時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 入館無料

◆講演会 2014年11/27(木) 13:30~15:00
(予約不要 13:20までに教育博物館受付にお越し下さい)
「イコンと西欧絵画」西山重徳(美術史家)

ギャラリートーク 学芸員が会場で展示会場の見どころを解説いたします

2014年11/17(月)、11/25(火)、12/3(水)、12/15(月)

2015年1/8(木)、1/22(木) 各回とも11:00~12:00(予約不要)

展示会の詳細はホームページでご確認ください

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

Tel : 042-739-8656

e-mail : museum@tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp



観想の聖母マリヤ カルロ・ドルチの工房 17世紀後半(前・後期)

東と西のキリスト教美術

—アイコン・西欧絵画コレクションから

Christian Arts in East and West

— From the Collection of Icon and European Painting

前期 2014年11月3日(月・祝)～12月7日(日)

後期 2014年12月13日(土)～2015年1月25日(日)

展示資料 前期 アイコン：聖三位一体／キリスト誕生まで／キリストの生涯と復活／聖母像など 35 点
 西欧絵画：聖母像／聖母子像／最後の晩餐／キリストの十字架磔刑／キリストの復活など 12 点
 後期 アイコン：聖母子像／キリスト像／祝祭のアイコン／天使と聖人たち／最後の審判など 36 点
 西欧絵画：前期と同じ作品 12 点を展示いたします
 ※西欧絵画「聖母子と大天使ミカエルと聖人たち」は、11月27日の講演会会場にて公開いたします



キリスト教の絵画には東方正教の世界にある伝統的なアイコンと西欧の美術としての聖画があります。今年度は玉川学園創立85周年を記念した特別展として、所蔵の美術資料の中から、東方正教のアイコンと西欧の宗教画を紹介いたします。

本学では、教育の理想として真・善・美・聖の四つの絶対価値の追求を掲げ、調和ある人格の陶冶をめざす全人教育を実践しています。全人教育は、学問・道徳・芸術教育とともに宗教教育を重視していますが、一宗一派にとらわれることなく、神という絶対者をおそれ、神を敬愛する心を養うことを目的としてきました。当館のアイコンと西欧絵画のコレクションは、このような本学の教育活動に資するために収集がはじまり、現在71点のアイコンと西欧絵画13点を所蔵するに至りました。

アイコンは、ビザンティン美術の一流として発達しました。8世紀のイコノクラスム（聖像破壊）の受難を経たのち、11世紀頃からのアイコン敬拝の高まりとともに、板にテンペラ技法を用いたアイコンがロシアやそのほかの東方正教会圏に広まっていきました。テンペラ技法は、顔料を卵黄で溶いて絵具としたもので、乾きが速く、発色がよいことと耐久性のある画面をつくることができます。

一方、西欧では4世紀にキリスト教が公認されて以降、宗教的な中世美術の時代を経て、聖書や宗教的な逸話をモチーフにした宗教画が多くの画家によって描かれました。15世紀からは顔料を油で練り合わせた絵

具を用いる油彩画の技法や写実的な表現が主流となり、より人間的なキリストや聖母、聖人が描かれるようになりました。

展示では、東方正教のアイコンと西欧絵画と比較することで、それぞれのもつ美と特性をより深く理解できる展示空間をつくります。

なお、この展覧会は展示スペースの都合により、会期を前期後期の2期に分けて開催いたします。アイコンは半数ずつ前期と後期で展示し、西欧絵画は両時期とも同じ作品を展示いたします。

宗教画のもつ聖なる世界を、ぜひこの機会に両会期ともご堪能ください。皆さまのご来館をお待ちいたしております。

- ① 薔薇の聖母 ロシア・アイコン 17世紀(後期)
- ② フェオドロフスカヤの聖母 ロシア・アイコン 19世紀(前期)
- ③ イエス・キリストの洗礼 ギリシャ・アイコン 18世紀(前期)
- ④ 聖ニコラウス ロシア・アイコン 16世紀(後期)
- ⑤ マリア・イマクラータ 油彩 17世紀末(前・後期)
- ⑥ キリストとサマリアの女 油彩 17世紀前半(前・後期)
- ⑦ キリストの復活 油彩 18世紀末(前・後期)
- ⑧ 最後の晩餐 油彩 17世紀後半(前・後期)

※当館では、アイコンの聖母を「マリヤ」と呼称しています。

◆**休館日** 前期 2014/11/11(火)～13(木)、15(土)、16(日)、29(土)、30(日)
 後期 12/20(土)～2015/1/4(日)、1/12(月)、17(土)、18(日)

◆**時間** 9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館無料
 展覧会の詳細はホームページでご確認ください

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 Tel: 042-739-8656
 e-mail: museum@tamagawa.ac.jp www.tamagawa.jp



※小田急線「玉川学園前」駅下車
 駅南口より徒歩15分
 ※駐車場はありませんので、
 車の来館はご遠慮ください。